地域おこし協力隊通信



池本隊員

日本は地震が多い国です。台風も多く発生します。そこで、留学生の防災意識を高めるべく、８月３日に防災体験バスツアーを開催しました。目的地の千葉県西部防災センターでは、留学生が、煙の中を歩く体験や暴風シミュレーションなどに挑戦し、災害時の初動対応や防災について学びました。

そのほか、町内各地で開催された盆踊りや夏祭りにも、留学生と一緒に参加しました。留学生が地域の皆さんと一緒に楽しみ、日本の文化に触れている姿を見て、多文化共生プロモーターとして、地域と留学生のつながりを強められるような役割を果たしていきたいと思いました。

また、９月１１日には、日本ウェルネススポーツ大学別科の２クラスの協力を得て、地域の方々を招いて公開授業を行いました。公開授業では、10月３日に開催した多文化共生フェスティバルにおける「スピーチ発表会」に出場する留学生の予選会を併せて実施し、地域の皆さまから、「一生懸命なのが伝わった」「頑張っている姿に感動した」などの感想が寄せられました。

このように、留学生と地域の皆さんが顔を合わせ、言葉を交わす場が少しずつ広がっています。これもひとえに地域の皆さまのご協力のおかげです。ありがとうございます。

なお、活動の様子は私のインスタグラムでも公開しておりますので、ぜひご覧ください。

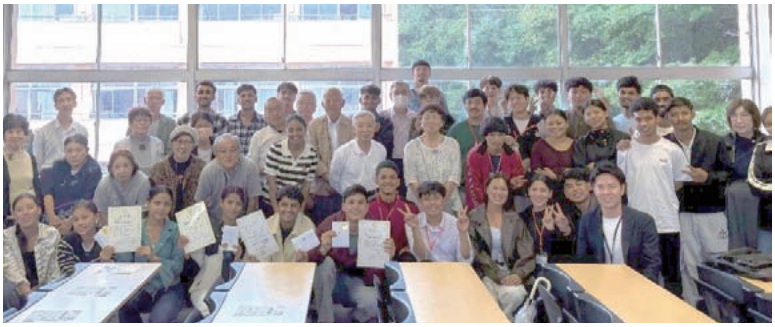
@TAKASHI_TONE_TABUNKA



防災体験バスツアー



夏祭りへの参加



日本ウェルネススポーツ大学公開授業

多文化共生プロモーターの奥田です。

利根町には、さまざまな国から来た外国籍住民が暮らしています。

私は、外国籍住民の皆さんが地域で安心して生活できるように家庭訪問を実施し、生活に関する情報提供や相談の受け付け、地域とのつながりづくりを行っています。地域の方の声を直接聞き、実生活のなかでどのようなことが起きているのかを知ることができるので、ごみの分別や生活習慣など、日々の困りごとを伺い、一緒に解決方法を考えています。

こうして実際に町を歩いていると、地域の方から「外国籍の方と仲良くしたいけれど、きっかけがない」という声をいただくことがあります。そこで、まずは身近な「あいさつ」から交流が始められるように、日本ウェルネススポーツ大学別科の授業に伺い、時間帯によって変わる日本のあいさつを学ぶ機会を設けました。

これからも一人ひとりの声を大切にし、外国籍住民と地域をつなぐ活動を続けていきたいと思います。



奥田隊員



家庭訪問の様子



日本ウェルネススポーツ大学別科生中継の様子

隊員からのお知らせ　空き家相談会を開催します

空き家の管理や売却、相続、今後の活用方法などでお悩みはありませんか？

地域おこし協力隊の空き家コーディネーターが、空き家に関する相談をお受けする「空き家相談会」を開催します。空き家についてお困りの方は、ぜひこの機会にご相談ください。

開　　催　　日：令和9年1月28日（木）
会場・申し込み方法：詳細については、「広報とね　令和9年　1月号」でお知らせします。
問 い 合 わ せ：生活環境課　環境衛生係　☎68-2211（内線 237）

